

「トライやるウィーク」を活かした
キャリアデザインプログラム



little more
もぉ！IPPO
Deep Wide Next Step
～仕事について みんなで話し合おう～

『経験を共有し合い、深め合う』

『社会の本気、仕事の哲学に触れる』

第1回 報告書

日時 2024.12.25 14時～15時30分
場所 アクリエひめじ

各 中学校長様

姫路地区専門学校協議会
会長 中農一也

平素は姫路地区専門学校の活動に関しまして、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

第1回キャリアデザインプログラム「もぉ！IPPO」のご報告をさせていただきます。

1 スケジュール

開 会 開会挨拶 姫路地区専門学校協議会 中農一也会長（日本工科大学校）

第1部 中学生による発表（60分）

テーマ 『トライやるウィークで感じたこと』

発表校 姫路市立飾磨東中学校 光川虹奈さん・中里友哉君・土居晋一郎先生
姫路市立広嶺中学校 山下到也君・岡本琉雅君・小寺泰誠君
前田蓮晋君・曾根啓介先生

第2部 ディスカッション（30分）

テーマ 『発表を聞いて、働くということについて改めて感じたこと』

参加者 内藤正芳様（建設業協会姫路支部事務局長）
南條誠様（社会福祉法人あいおい福祉会常務理事）
立脇寛基様（兵庫県自動車整備協会姫路事務所長）
宗行好信様・宗行理奈様（社会福祉法人安室理事長 安室保育園長）
小林寛樹様（宮野医療機器株式会社）
寺坂順子様（ジブラルタ生命保険株式会社）

閉会 閉会挨拶 姫路地区専門学校協議会 前田真吾（姫路福祉保育専門学校）



中学生	めちゃくちゃ緊張して頭から言うことがぶっとびそうだったけど、言えてよかった。将来のことについてたくさん考えられたので、参加して正解だったと思った。
	他の中学校の人たちの話も聞けて、その場所によって大変なことや楽しいことは違うけれど、「人の役に立っている」という面では共通していると感じた。ディスカッションでは、いろいろな人から、仕事を選んだきっかけを聞き、気持ちの持ちようについてもわかったので、生かしていきたい。
	トライやるウィークに行くことで将来の職業は決定しないものの、職業選択の一つのヒントを得られたと思った。ディスカッションで、後悔したことなどを聞けて、やっぱり勉強は大事だし、一生懸命やり遂げることが大事だと教わった。
	この会に参加しているいろんなことに気づけた。仕事とは何のためにするかという大切なことを改めて知った。みなさんにいろいろなことを教えてもらい、最終的にはすべてはつながっているということが分かった。
	他校の学生や大学生のみなさんと発表やディスカッションを行うことで、コミュニケーションを取れたり、進路のことやトライやるウィークで学んだことなどを深め合うことができてよかったと思う。NO RAIN、NO RAINBOWのように挑戦していきたい。
	他の中学校の方々のトライやるウィークを通して学んだことを聞けて、良い経験になった。

教員	中学生の感想が想像以上だった。トライやるウィークの意義を感じた。
	トライやるウィーク後、校内での発表で終わるところが、多くの方の前で発表することができ、より大きな学びをえりことができた。他の中学校の生徒と交流でき、刺激を受けたようだ。
	トライやるウィーク後の、各々の感想が聞けて良かった。初対面の人の前で発表したり、ディスカッションの経験ができたりして、これから先の役に立つ一日になった。しいて言うならもっとたくさんの中学校在が参加し、感想を聞いてみたいと思った。

企業	中学生の率直な意見が聞けた。グループディスカッションでも中学生の将来の夢など話していただき、勉強になった。次回も楽しみにしている。
	中学生の生の声を聴けて、専門学校生の考えも聞けて、貴重な時間となった。少子化でさまざまな業界が人材不足に苦労している中、若い世代にかける期待が大きいため、今後さらにこの取り組みが広がることを願っている。
	中学生の話を聞いて、トライやるウィークで様々なことを学んでいると感じた。社会に出ると様々な職種業種があると思うので、学生の間にたくさんのことを経験してほしいと思う。
	非常に良い企画と思う。学生にとって今後につながると思う。さらにたくさんの募集があればもっと良くなると思う。
	中学生がとてもしっかり意見を述べていたのに驚いた。トライやるウィークで整骨院にいった人が、仕事とは、商売とは、物を売るのではなく技術を提供することであると気づかれて、素晴らしいと思った。私もそのような考えで仕事をしている。とても勉強になった。

専門学校生	堂々とした発表で感動した。唐突な質問などにもしっかりと受け答えができていてすごいと思った。私自身気持ちを新たに頑張ろうと思った。
	初めての経験で自分の役わりもあり、とても楽しく貴重な経験ができた。
	2部から自由に話せる場があり、とてもよいと感じた。もう少し話す内容に焦点をあてられるようにするために、話題を少し細かく設定すればよりよくできると思った。
	自分が中学生の時にに行ったトライやるウィークを思い出した。来年の就職活動頑張ろうと思った。





グループ
ディスカッション



中学生ら「仕事」考える アクリエ 社会人らの体験聞く



中学生と専門学生、社会人が「仕事」について語り合うセミナー＝アクリエひめじ

就業体験「トライやるウィーク」を終えた中学生たちが、将来の進路について考えるセミナーがアクリエ

大切な
ハシゴは
三和印房
電話 079-1218

ひめじ（姫路市神屋町）で開かれた。生徒たちは専門学校生や社会人と議論する中で、仕事に対する学びを深めた。

催しは、姫路市内の専門学校13校でつくる「姫路地区専門学校協議会」が主催。仕事の現場を体験した中学

たちから体験談を聞いた。生徒たちは「今の仕事を選んだきっかけは？」「今のうちにやっておくといふことは？」と、積極的に質問していた。教育や福祉、自動車整備などの現場で働く先輩らは「いろんなことに興味を持って、たくさん場所足を運んでほしい」などとエールを送った。

（成 将希）

神戸新聞 2025.1.6

朝日新聞 2025.1.4

23 兵庫 但馬・播磨・篠山 13 版

ひよびづ

播磨 | 但馬 | 丹波・篠山



デジタル版
ニュースはこちら

姫路支局
TEL 079(223)0434
FAX 079(224)0032
hyogo@asahi.com
豊岡支局
TEL 0796(22)3105
FAX 0796(24)3939
神戸総局
TEL 078(331)4144
FAX 078(331)4149
購読・配達のご用は
0120-33-0843 (7～21時)
広告のご用は
078(321)2424
078(382)3101

きょうの天気

	6～12時	12～18時
神戸	☀️ 20	☁️ 40
洲本	☀️ 10	☁️ 3度
丹波	☀️ 0	☁️ 20
豊岡	☀️ 9	☁️ 3度
姫路	☀️ 40	☁️ 40
	☀️ 9	☁️ 1度
	☀️ 50	☁️ 90
	☀️ 7	☁️ 1度
	☀️ 20	☁️ 30
	☀️ 10	☁️ 1度

話そう 職業体験

姫路 中学生が他校と交流



トライやる・ウィークの経験について話し合う中学生たち＝姫路市神屋町

姫路市内にある13の専門学校で構成する姫路地区専門学校協議会は、中学生の職業教育をテーマにした新しいプログラム

「トライやる・ウィーク」の成果を進展させ

姫路市神屋町で開かれた。生徒たちは専門学校生や社会人と議論する中で、仕事に対する学びを深めた。

る企画にするという。プログラム名は「もぉ！IPPPO」。協議会によると、各中学校が「トライやる・ウィーク」の職業体験で得た学びを他校の生徒とも共有する機会を設けるのが狙い。専門学校のスタッフや学生が助言者・ファシリテーター（進行役）として関わり、職業教育の専門性を生かす考えだ。1回目として昨年12月にアクリエひめじ（姫路市神屋町）であったイベントでは、飾磨東中学校の2年生2人が病院、介護施設、専門学校で、広嶺中学校の2年生4人が

警察、消防、スーパ、整備院で体験したことをそれぞれ発表した。お互いに「仕事のやりがいや大変さをどう思ってたか」などと質問を投げかけ合い、得たことや感じたことの違いなどを確認した。

（東孝司）

3 本事業に込めた姫路地区専門学校協議会の思い

『トライやるウィーク』プログラムは歴史も長く、職業選択に繋がっている実績があり、中学生にとって、とても有意義な事業であると思っています。

中学校の先生方も時間をかけて尽力されており、キャリア形成に多大な成果を収められている『トライやるウィーク』で得た経験を他校の生徒と共有し合い、さらに深める機会があれば一層の効果を発揮されと考えました。

そこで、私たち姫路地区専門学校協議会の13校は、専門学校の持つ専門性を活かし、キャリア形成の一助となるべく本事業を企画しました。その思いを込めて事業名称も『もお！IPPO』としました。

【期待できる効果】

『トライやるウィーク』での経験の共有・・・①同世代との意見交流と意見交換

②多彩の人たちとの交流と意見交換



(効果)

(1) 自分の考えがまとまる。 → 考えを深めるきっかけを得る。

(2) 自分の考えがさらに深まる。 → その時には気づけなかった自分の考えに気づくことができる。

(3) 新しく出会うことの楽しさを知る。 → 新しい考え方に出会える。

新しい出会いへの積極性が高まる

4 もお！IPPO キャリアデザイン サポートプログラムのご紹介

全校単位、学年単位等でのセミナーを開催しています。

詳細をお聞きになりたい学校様は、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：姫路福祉保育専門学校 担当 柳・藤田 TEL

079-281-0555 MAIL bunka@himefuku.ac.jp



令和6年度 プレゼントの言葉 『No Rain! No Rainbow!』

第2回 もお！IPPO(12月予定)を計画しています。

学びの輪を広げたいと思っています。
ぜひ、ご参加ください。

《姫路地区専門学校協議会》

加盟校サイト	
	厚生労働大臣指定 介護福祉士・保育士養成校 社会福祉主事養成施設 姫路福祉保育専門学校
	学校法人 加和学院 日本工科大学校 Professional Top College 文部科学省 国土交通省 厚生労働省 認定校
	学校法人 無所学園 姫路ハーベスト医療福祉専門学校
	Himejo 姫路情報システム 専門学校
	MKSH 学校法人 みかしほ学園
	学校法人神戸温愛学園 姫路医療専門学校
	Himeshika
	学校法人 本田学園 厚生労働大臣指定美容師養成施設 アルファジャパン美容専門学校 兵庫県姫路市の美容専門学校
	兵庫県美容学園 姫路理容美容専門学校
	O-HARA 学校法人大原学園 姫路情報・ITクリエイター法律専門学校
	O-HARA 学校法人大原学園 大原保育スポーツ医療専門学校姫路校
	<i>Tokusukai</i> Hyogo Tokusukai Dental Hygienist School 兵庫徳誠会歯科衛生士学校